「卒業生の就業実態からみる、本学の教育成果とキャリア形成の状況」

―卒業後 1 年目・3 年目アンケート結果―

情報（IR）室

本調査は、進路支援課が 2022 年度卒業生を対象に、卒業後 1 年目および 3 年目に実施したものであり、就業状況や職業意識、キャリア形成の実態を把握することを目的としています。分析の結果、就業状況、専門性の活用、雇用形態、仕事に対する意識等について、一定の傾向が確認されました。

1. 調査の概要

（1）実施時期

卒業 1 年目：2023 年 10 月～12 月

卒業 3 年目：2025 年 10 月～12 月

（2）調査方法：Google フォームを使用して作成したアンケート（進路支援課実施）

（3）アンケート回答者数および回答率　　※2022 年度卒業

	対　象	依頼者数	回答者数	回答率
大学	卒業 1 年目	81 名	34 名	42.0%
大学	卒業 3 年目	81 名	29 名	35.8%
短期大学	卒業 1 年目	150 名	41 名	27.3%
短期大学	卒業 3 年目	150 名	39 名	26.0%

（4）留意事項

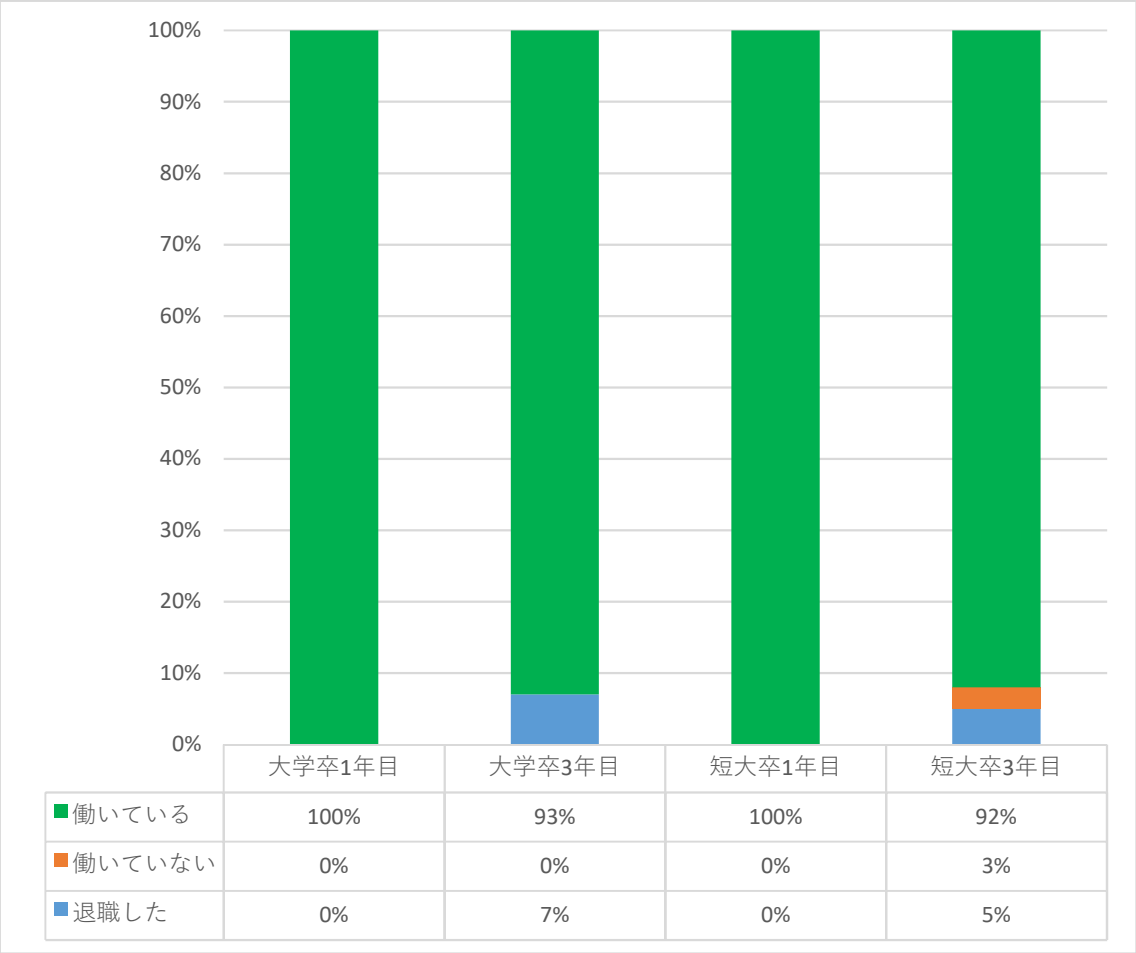
・本調査は同一卒業年度の卒業生を対象に、卒業後 1 年目および 3 年目に実施したものであり、同一個人を継続的に追跡したものではありません。

・設問ごとに有効回答数が異なるため、結果の解釈には留意が必要です。

・本調査は自己回答に基づくものであり、回答には一定の主観が含まれます。

2. 卒業生アンケート

設問 1.あなたは現在、働いていますか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
働いている	100%	93%	100%	92%
働いていない	0%	0%	0%	3%
退職した	0%	7%	0%	5%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 34 名、大学卒 3 年目 29 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 39 名

（1）大学卒業生

卒業 1 年目は 100%、3 年目においても 93%と高い就業率が確認されました。一部に離職も見られるものの、全体としては就業状況が維持されている傾向が見られます。

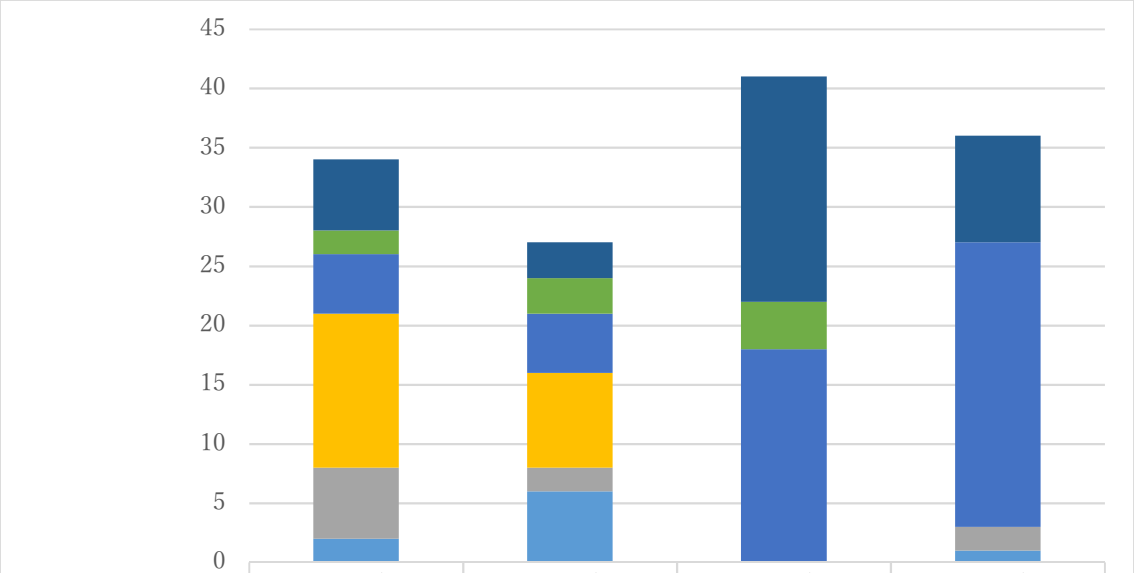
（2）短大卒業生

卒業 1 年目は 100%、3 年目においても 92%と高い就業率が確認されました。大学と同様に、一部に離職は見られるものの、全体として高い就業状況が維持されています。

（3）総括

大学・短期大学ともに、卒業後も高い就業率が維持されている傾向が確認されました。

設問 2.「働いている」を選択した人は、勤務先はどこですか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
保育所	6	3	19	9
幼稚園	2	3	4	0
認定こども園	5	5	18	24
小学校	13	8	0	0
福祉施設	6	2	0	2
中学校	0	0	0	0
その他の勤務先	2	6	0	1

※回答数（n）：大学卒 1 年目 34 名、大学卒 3 年目 27 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 36 名

（1）大学卒業生

保育分野、小学校および福祉分野への就業が見られ、保育分野が多い一方で、小学校への就業も一定の割合を占めています。各分野において、専攻や取得資格を活かした進路選択がなされている状況が確認されました。

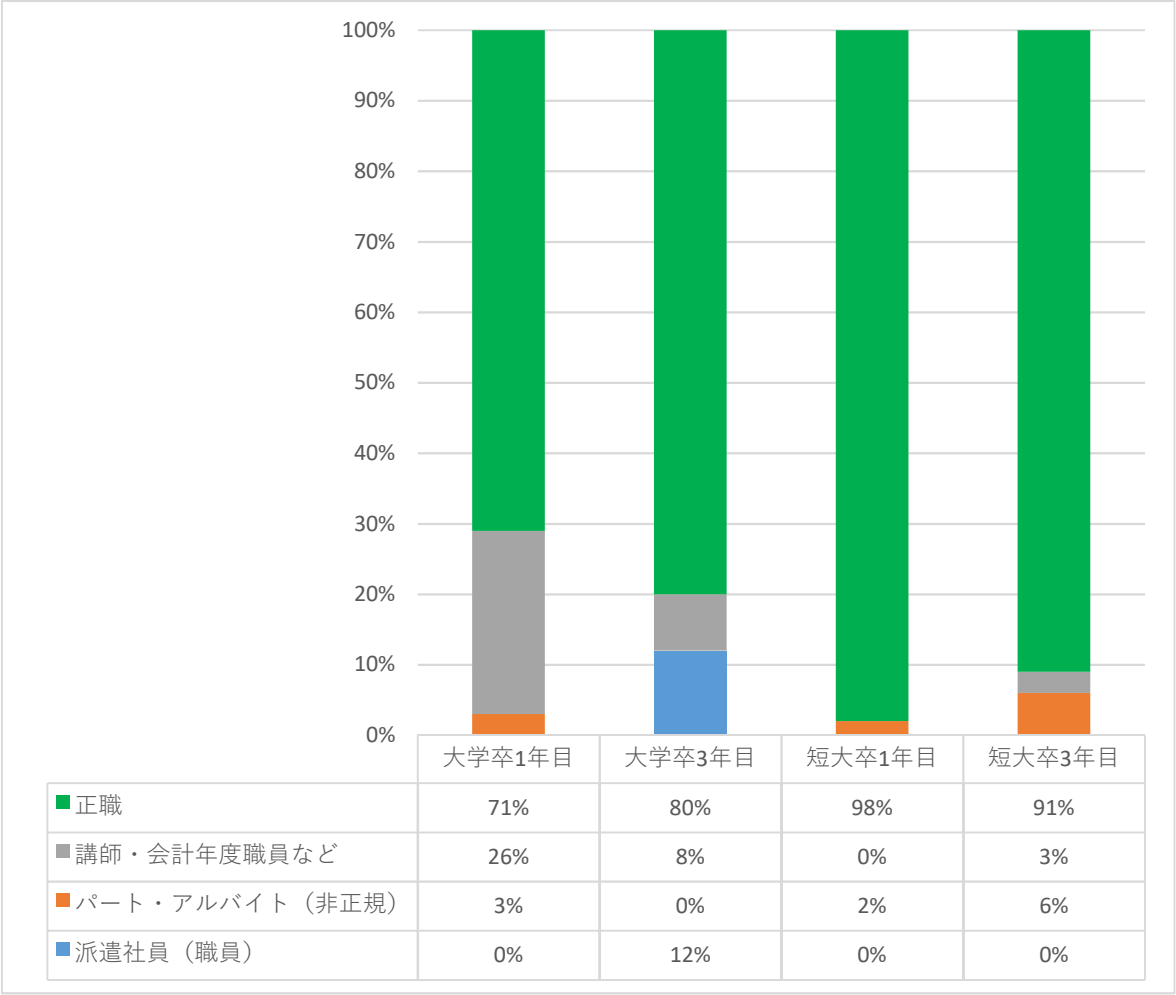
（2）短大卒業生

卒業生の多くが認定こども園や保育所に就業しており、特に 3 年目においても同様の傾向が見られました。資格を活かした専門職への就業が継続している状況が確認されました。

（3）総括

大学・短期大学ともに、保育・教育・福祉分野を中心とした専門職への就業が多く、在学中の学びや資格を活かした進路選択がなされている傾向が見られます。

設問 3.「働いている」を選択した人は、あなたの就業形態は何ですか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
正職	71%	80%	98%	91%
講師・会計年度職員など	26%	8%	0%	3%
パート・アルバイト（非正規）	3%	0%	2%	6%
派遣社員（職員）	0%	12%	0%	0%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 34 名、大学卒 3 年目 25 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 35 名

（1）大学卒業生

1 年目は正規雇用 71%、講師等 26%であるのに対し、3 年目には正規雇用が 80%まで増加しています。現場での経験を積む中で、教員採用試験等を経て正規雇用へ移行している可能性が考えられます。

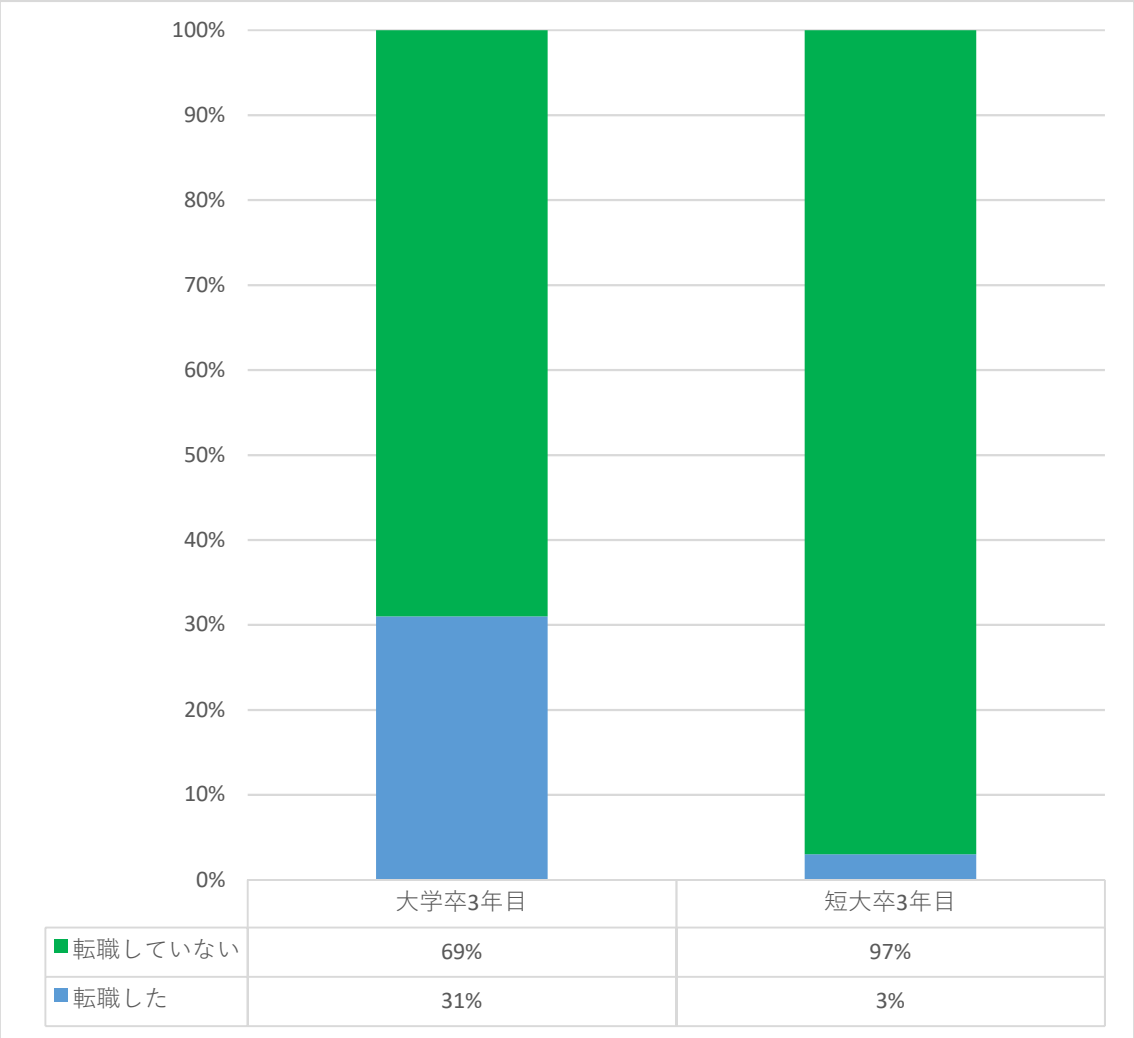
（2）短大卒業生

1 年目から正規雇用が 98%、3 年目には 91%と高い割合を維持しています。卒業直後から正規雇用で就業している割合が高い状況が確認されました。

（3）総括

大学では経験の蓄積に伴い正規雇用への移行が見られ、短期大学では卒業直後から正規雇用の割合が高い傾向が確認されました。

設問 4.「働いている」を選択した人は、卒業してから転職しましたか？※卒業 3 年目のみ



※回答数（n）：大学卒 3 年目 26 名、短大卒 3 年目 36 名

（1）大学卒業生

卒業 3 年目においては 31%が転職を経験しており、一定数の転職が見られました。就業後の経験を踏まえたキャリアの見直しが行われている可能性が考えられます。

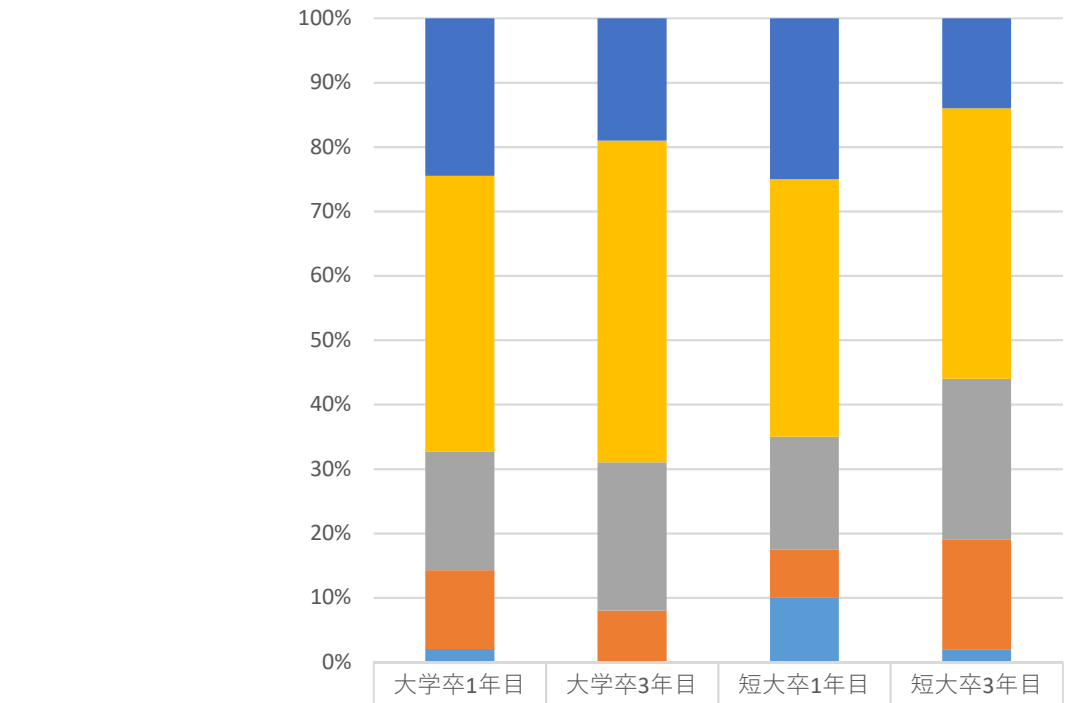
（2）短大卒業生

卒業 3 年目においても転職割合は 3%と低い水準にとどまっており、比較的高い定着傾向が確認されました。

（3）総括

大学では一定の転職が見られる一方、短期大学では転職割合が低く、就業継続の傾向が見られます。

設問 5.あなたは現在の職場・仕事内容などを総合的に見て、どのように感じていますか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
満足している	24%	19%	25%	14%
どちらかといえば満足している	42%	50%	40%	42%
どちらでもない	18%	23%	17.5%	25%
どちらかといえば不満である	12%	8%	7.5%	17%
不満である	2%	0%	10%	2%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 33 名、大学卒 3 年目 26 名、短大卒 1 年目 40 名、短大卒 3 年目 36 名

（1）大学卒業生

仕事に満足していると回答した割合は、1 年目の 66%から 3 年目には 69%へと増加しています。就業経験の蓄積に伴い、満足度が高まる傾向が見られます。

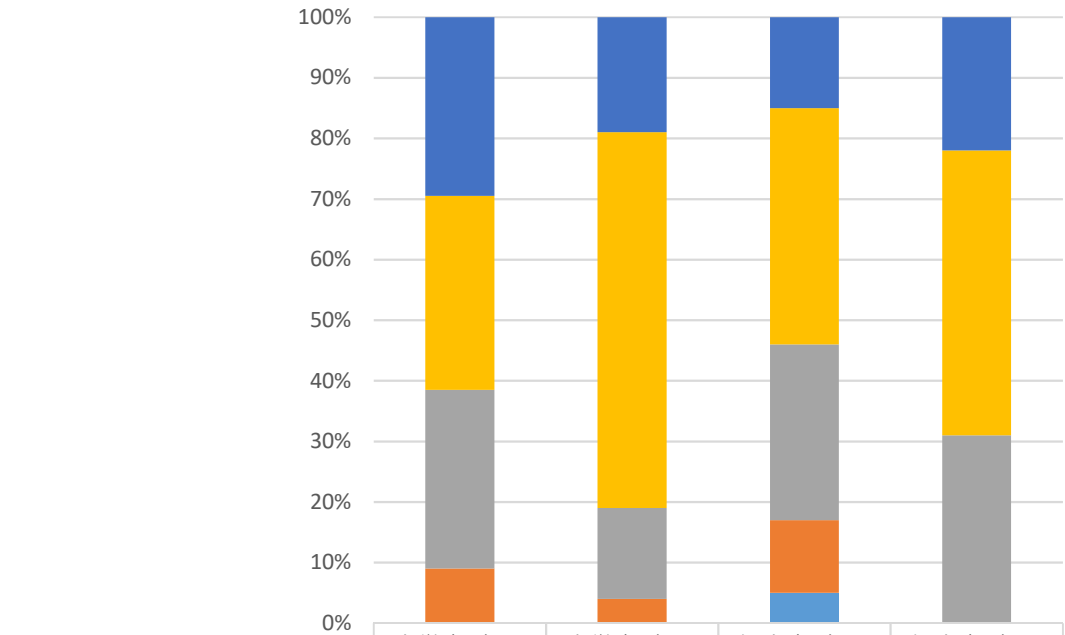
（2）短大卒業生

1 年目は 65%と一定の満足度が見られました。3 年目においては分布に変化が見られ、一部に課題意識を持つ回答も確認されました。

（3）総括

全体として、仕事に対する満足度は概ね肯定的な傾向が見られる一方で、経験の蓄積に伴う意識の変化も確認されました。

設問 6.あなたは職場生活において、自分の技能・能力を活かせていますか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
そう思う	29.5%	19%	15%	22%
どちらかと言えばそう思う	32%	62%	39%	47%
どちらともいえない	29.5%	15%	29%	31%
どちらかと言えばそう思わない	9%	4%	12%	0%
そうは思わない	0%	0%	5%	0%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 34 名、大学卒 3 年目 26 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 36 名

（1）大学卒業生

自身の能力を活かせていると回答した割合は、1 年目の 61.5%から 3 年目には 81%へと増加しています。就業経験を重ねる中で、在学中に培った能力が業務に結びついている可能性がうかがえます。

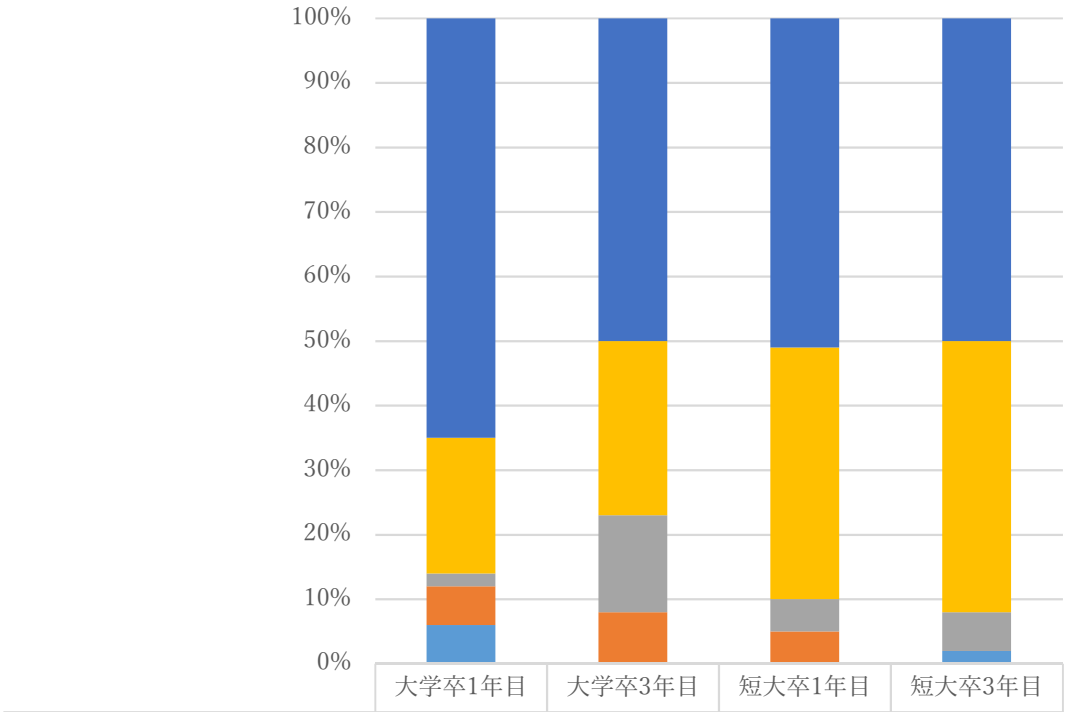
（2）短大卒業生

自身の能力を活かせていると回答した割合は、1 年目で 54%、3 年目では 69%へと増加しています。特に 3 年目では否定的な回答が見られず、全体として能力を活かしていると認識されている状況が確認されました。

（3）総括

全体として、卒業生の多くが自身の能力を活かしていると認識しており、本学での学びが就業後に一定程度活用されている可能性が示唆されます。

設問 7. あなたは職場生活において－責任のある仕事を任されていますか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
そう思う	65%	50%	51%	50%
どちらかと言えばそう思う	21%	27%	39%	42%
どちらともいえない	2%	15%	5%	6%
どちらかと言えばそう思わない	6%	8%	5%	0%
そうは思わない	6%	0%	0%	2%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 34 名、大学卒 3 年目 26 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 36 名

（1）大学卒業生

1 年目は 86%、3 年目は 77%が「責任ある仕事を任されている」と回答しており、いずれも一定の割合で責任ある業務を担っている状況が確認されました。

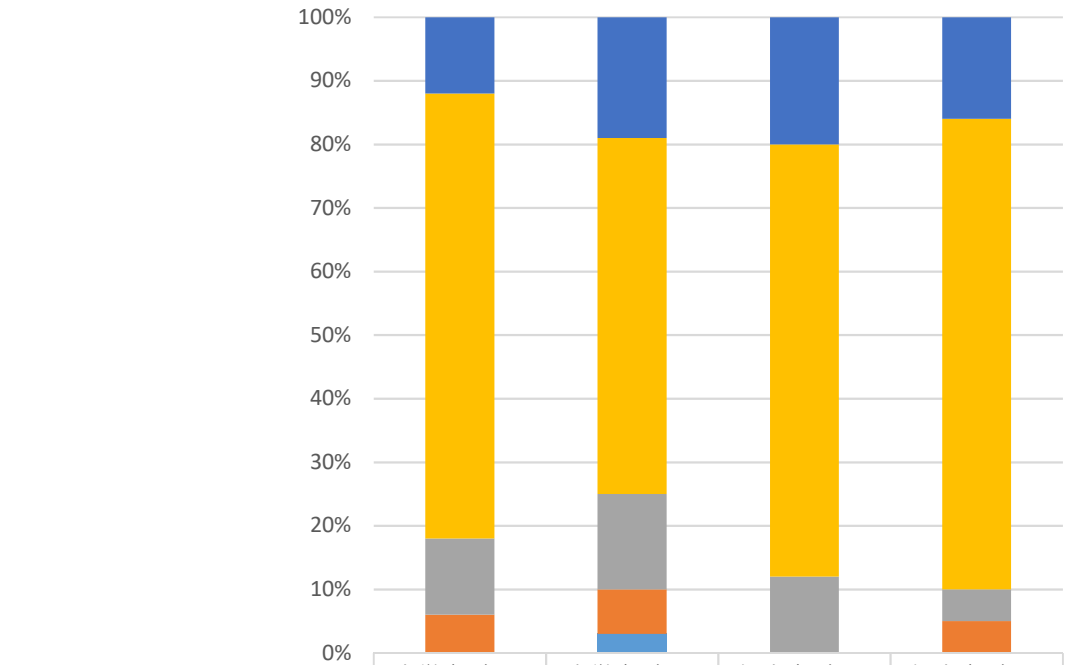
（2）短大卒業生

1 年目は 90%、3 年目は 92%が「責任ある仕事を任されている」と回答しており、高い水準で推移しています。

（3）総括

大学・短期大学ともに、多くの卒業生が責任ある業務を担当していると認識している一方で、大学ではやや低下、短期大学では上昇が見られるなど、経年による認識の変化が確認されました。

設問 8.あなたの卒業後の進路は、学校での職業指導は役に立ちましたか？



	大学卒1年目	大学卒3年目	短大卒1年目	短大卒3年目
かなり役に立った	12%	19%	20%	16%
役に立った	70%	56%	68%	74%
あまり役に立たなかった	12%	15%	12%	5%
職業指導はなかった、もしくは受けなかった	6%	7%	0%	5%
役に立たなかった	0%	3%	0%	0%

※回答数（n）：大学卒 1 年目 33 名、大学卒 3 年目 27 名、短大卒 1 年目 41 名、短大卒 3 年目 39 名

（1）大学卒業生

職業指導が「役に立った」とする回答は、3 年目において 75%となっており、就業後においてもその有用性が一定程度認識されていることがうかがえます。

（2）短大卒業生

1 年目・3 年目ともに約 9 割が「役に立った」と回答しており、継続して高い評価が見られます。

（3）総括

大学・短期大学ともに、職業指導に対する評価は全体として肯定的であり、卒業後の進路選択や就業において一定の役割を果たしている可能性が示唆されます。

3. まとめ

本調査の結果、本学の卒業生は比較的高い就業率および正規雇用率を維持し、専門分野に関連する職種に就業している状況が確認されました。
また、職務に対する満足度や技能の活用状況についても、全体として肯定的な傾向が見られました。

（1）大学卒の総括

大学卒業生は、専門職としてキャリアを開始し、年次の経過に伴い、能力の発揮や仕事に対する満足度が高まる傾向が見られました。就業形態については、当初は講師等での就業も見られるものの、3 年目にかけて正規雇用へ移行する事例が確認されており、就業経験を通じて段階的にキャリアが形成されている状況がうかがえます。

また、卒業後の時間の経過に伴い、職業指導の有用性に対する評価が一定程度認識されていることも確認されました。

（2）短大卒の総括

短期大学卒業生は、卒業直後から正規雇用で就業する割合が高く、能力の活用実感についても一定の水準が確認されました。3 年目においても就業率は高い水準を維持しており、全体として安定した就業状況が見られます。

また、認定こども園や保育所等において継続して就業している傾向が見られ、経験の蓄積に伴い、職務上の役割が広がっている可能性がうかがえます。

（3）総合総括

大学・短期大学いずれの区分においても、多くの卒業生が自身の技能を活かしながら就業していると認識しており、職務に対する満足度についても概ね肯定的な傾向が見られました。これらの結果から、本学における教育およびキャリア支援が、卒業後の就業状況に一定の関連を有していることが示唆されます。

また、本調査において一定の回答率が確保されていることから、卒業生との継続的な関係性が維持されている状況もうかがえます。

今後も、本調査結果を踏まえ、教育内容およびキャリア支援のさらなる充実に向けて取り組んでいきます。